



2020年12月7日

茅野市

Via Mobility Japan 株式会社

損害保険ジャパン株式会社

株式会社プライムアシスタンス

AI オンデマンド交通を活用した 新たな地域公共交通システムの実証実験を開始

茅野市（茅野市長：今井 敦）は、国土交通省の令和2年度日本版 MaaS 推進・支援事業に応募し、38 事業の一つとして選出されました。今回その枠組みを活用し、AI オンデマンド交通を利用した新たな地域公共交通システムの実証実験を行います。

本実験は、従来のバス路線で曜日運行や非効率経路などで不便であった拠点等を、乗合タクシー等、AI オンデマンド交通で繋げることで市街地への誘客を促すものです。

実験にあたり、AI オンデマンド交通の予約に関するスマートフォンアプリ「のらざあ」の提供や、電話予約、運行管理などの運営全般に関し、Via Mobility Japan 株式会社（代表者：西島 洋史、以下「Via」）、損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）、株式会社プライムアシスタンス（代表取締役社長：徳岡 宏行、以下「プライムアシスタンス」）が参画します。

1. 実証実験の目的

茅野市は、第2次地域創生総合戦略^{※1}の策定に向けて新しい地域交通の在り方を議論してきました。自家用車での移動比率が高い茅野市では、高齢者の免許返納、仕事上の親の通院や介護の交通課題が顕在化しており、これらの課題解決を図るため、AI オンデマンド交通を導入したハブ&スポーク型^{※2}の地域公共交通体系への転換を図っていく方向性が示され、AI オンデマンド交通の実証実験の導入に至りました。

※1 現在と将来の社会的変化を捉え、茅野市の人口減少に向けた取組みと、若者に「選ばれるまち」の実現による地方創生の新たな展開に向けた戦略を2020年4月に策定しました。

※2 中心拠点（ハブ）への集約と、拠点（スポーク）毎に分けて旅客輸送する方式のことをいいます。ハブ拠点を設けることで、効率的な運行ネットワークの形成が可能になります。

2. 実証実験の概要

■実施スケジュール

2020年12月7日（月）～2021年5月31日（月） 6か月間

■利用対象者

どなたでもご利用いただけます。

（ご利用にあたっては専用アプリへの登録もしくはコールセンターへご連絡いただく必要があります）

■AI オンデマンド交通について

スマートフォンアプリ「のらざあ」、または、コールセンターのオペレーターが電話にて利用者からの配車予約を受付、AI が乗合タクシーを配車します。利用者は実証運行エリア内であれば、どこでも乗降が可能となります。

■実証運行エリア

茅野市 豊平、玉川、泉野、中大塩、市街地、米沢の一部（別荘地を除く）



■料金

距離	スマートフォンでの予約の場合 (クレジットカードまたは現金払い)	電話予約の場合 (現金払い)
3キロ未満	300円	400円
3キロ以上5キロ未満	500円	700円
5キロ以上	700円	1,000円

■参画事業者とそれぞれの役割

事業者	役割
茅野市	プロジェクト統括、事業主体
Via	AI オンデマンド交通システムの提供
損保ジャパン	AI オンデマンド交通システムを進化・向上させるためのリスク分析等
プライムアシスタンス	配車予約コールセンターの提供

3. 今後について

茅野市では、高齢者の免許返納促進を通じた高齢者による交通事故の未然防止や、マイカーを持たない市民や別荘所有者等の移動利便性を向上させることで、市街地への誘客促進等を目指しています。本実証実験で、オンデマンド交通の受容性等を検証し、マイカーを持たなくても生活することが可能となる街づくりなど、新たな地域交通の構築を目指していきます。また、Via、損保ジャパン、プライムアシスタンスは、本実証実験終了後の社会実装に向けた取り組みを支援するとともに、他地域での展開も視野に、今後も研究を進めていく方針です。

以上